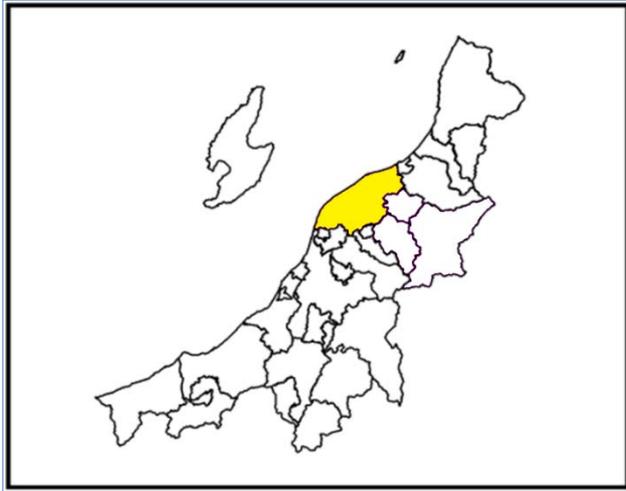


SWANネット運用の今までとこれから ～地域連携パスの活用を含めて～

一般社団法人 新潟市医師会 地域医療推進室
室長 齋川 克之

SWANネット運用の経緯

新潟市の概要



総人口	H30 794,117人	(前年比△3,560人)
うち65歳以上人口	H30 227,006人 (28.6%)	(前年比+3,374人)
うち後期高齢者人口 (75歳以上)	H30 113,553人 (14.3%)	(前年比+2,222人)
一般診療所／在支診数	515／46	
訪問診療可能な診療所数	158	
病院数 (医療圏病院数)	44 (50)	※五泉市, 阿賀野市, 阿賀町
地域包括支援センター数	27	
要介護認定者／認定率	42,664人	／ 18.7%

※診療所・病院数 新潟県医療情報ネット

※人口 H30.7.1現在 ※要介護認定者／認定率 H30.3.31現在

新潟市の概要

	診療所	歯科	病院	訪問看護	薬局	居宅	その他サービス事業所	(区計)
北 区	29	33	4	4	33	21	87	211
東 区	71	73	5	5	68	44	172	438
中央区	180	156	14	15	129	67	251	811
江南区	44	33	2	5	26	24	107	242
秋葉区	38	43	3	3	40	29	115	271
南 区	21	23	3	3	23	13	57	143
西 区	100	98	9	14	88	60	198	567
西蒲区	32	30	4	5	27	19	84	201
計	515	489	44	54	434	277	1,071	2,884

※医療機関：平成30年4月現在

※介護機関：平成30年5月現在

※関東信越厚生局（診療所・歯科・病院・薬局）

※新潟県「介護保険制度事業者情報（訪問看護・居宅介護支援事業所）」



地域医療再生基金

	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0
市区町村	在宅医療連携拠点事業（国補）							
			地域医療再生基金					
				在宅医療・介護連携推進事業 （介護保険制度の「地域支援事業」）				
都道府県			地域医療再生基金					
				地域医療介護総合確保基金 （新たな財政支援制度による）				

SWANネット導入の経緯 (H26-27)

地域医療再生基金概要

提案者：新潟市医師会・済生会新潟第二病院・斎藤内科クリニック

目的

地域医療再生計画に基づく事業を遂行していく中で、計画策定時(平成22年度)以降に生じた状況変化に対応するために生じる予算の不足を補うため都道府県に設置されているもの

概要

- ◆ 対象地域 ⇒ 都道府県
- ◆ 対象事業 ⇒ 平成25年度末まで事業を開始するもの
- ◆ 予算額 ⇒ 500億円

具体的な事業例

- ◆ **災害時の医療の確保事業**
「南海トラフの巨大地震に関する津波高、被害想定」に対応するために必要な医療機関の施設整備費の増
- ◆ **医師確保事業**
医学部の地域枠定員の増員に伴い必要となる修学資金の増
- ◆ **在宅医療推進事業**
25年度からの医療計画に「在宅医療」等が明記されたことに対応するために必要となる事業費の増

在宅医療推進事業

- ◆ 予算1.2億円(当初：県内4か所)
⇒ 県内5か所(新潟, 新発田, 三条, 長岡, 十日町の5か所)
- ◆ **新潟市医師会, 済生会新潟第二病院, 斎藤内科クリニックの三者連名による申請**
(調整役として新潟市)
⇒ **在宅医療IT連携事業・在宅医療連携拠点事業の2本柱で整備することとなった。**

SWANネット導入の経緯

○新潟県在宅医療連携モデル事業（平成26～27年度）

（新潟市医師会、済生会新潟第二病院、斎藤内科クリニック）

・新潟市在宅医療連携拠点事業

→ 新潟市在宅医療連携拠点整備運営委員会

・新潟市医師会 I T 連携事業

→ 新潟市医師会 I T 連携運営委員会

→ 在宅医療・介護連携情報共有システム 「Net4U」 を使用

在宅医療・介護連携推進事業

	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0
市区町村	在宅医療連携拠点事業（国補）							
			地域医療再生基金					
				在宅医療・介護連携推進事業 （第6期介護保険事業計画「地域支援事業」 の見直し）				
都道府県			地域医療再生基金					
				地域医療介護総合確保基金 （新たな財政支援制度による“新基金”）				

新潟市在宅医療・介護連携センター/ステーション

センター/ステーション名	医療機関名
新潟市在宅医療・介護連携センター	新潟市医師会
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 北	豊栄病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 東	新潟臨港病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 東第二	木戸病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 中央	斎藤内科クリニック
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 中央第二	みどり病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 江南	亀田第一病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 秋葉	新津医療センター病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 南	新潟白根総合病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 西	済生会新潟第二病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 西第二	信楽園病院
新潟市在宅医療・介護連携ステーション 西蒲	西蒲中央病院

	MSW	看護師	保健師	介護支援専門員	事務・SE
センター	2		1		1
ステーション	15	5	1	1	4
計	17	5	2	1	5

地域医療再生基金

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
市区町村	在宅医療連携拠点事業（国補）							
			地域医療再生基金					
						在宅医療・介護連携推進事業 （介護保険制度の「地域支援事業」）		
都道府県			地域医療再生基金					
			地域医療介護総合確保基金 （新たな財政支援制度による）					

在宅医療・介護連携の流れ（関係機関との情報共有:Net4U）

- ・ **地域医療再生基金**を活用した新潟県在宅医療推進モデル事業（本市を含めた県内5箇所が採択を受け実施）
- ・ 「**新潟市医師会 I T 連携運営委員会**」にて検討，進捗管理，検証（H28.3.31まで）

地域内の複数の施設で患者の医療や介護の情報を共有でき、医療者、介護者が双方向にコミュニケーションをとることが可能なヘルスケアSNS。

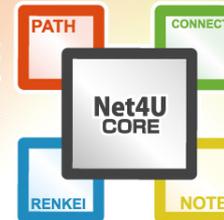


Net4U PATH

- ・ 複数疾患に対応した地域連携バスシステムです。WEBフォーム方式やExcel添付方式で、バスを共有することができます。
- ・ バスの予定や実施の管理、バスデータの集計機能を持ちます。

Net4U RENKEI

- ・ 地域連携向けの機能を集約した、外部拡張システムです。
- ・ 紹介状・逆紹介状の管理、紹介データの集計、診療予約・検査予約が可能です。



Net4U CORE

- ・ Net4U製品群の中核となるASP型のEHRエンジンです。
- ・ 施設と患者の紐付けや名寄せ機能を持ち、所見、処方、検査結果、文書テンプレート等の情報を地域で共有することができます。

Net4U CONNECT

- ・ 標準的なデータ交換様式による外部ストレージからのデータ参照が可能となります。
- ・ Net4UをASP型とレジストリ・リポトリ型のハイブリッドシステムとして利用できます。

Net4U NOTE

- ・ 患者・家族が参加した健康情報・介護情報の記録ができる、Net4Uの外部拡張PHRエンジンです。
- ・ COREとのシステム連携により、検査結果や処方の参照ができ、連絡ノートとしても利用できます。

地域医療介護総合確保基金

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
市区町村	在宅医療連携拠点事業（国補）							
			地域医療再生基金					
				在宅医療・介護連携推進事業 （介護保険制度の「地域支援事業」）				
都道府県			地域医療再生基金					
			地域医療介護総合確保基金 （新たな財政支援制度による“新基金”）					

SWANネット導入の経緯

【地域医療介護総合確保基金】

○新潟県在宅医療推進センター整備事業（平成27年度～）

（新潟市医師会在宅医療推進センター 平成27年11月～ ）

・ **ICT連携システム整備事業**（平成28年度）

→ 新潟市医師会在宅医療・在宅ネット運営協議会

→ 在宅医療・介護連携情報共有システム **「Net4U」**

新潟市医師会在宅医療推進室とは

(新潟市在宅医療・介護連携センター/新潟市医師会在宅医療推進センター)

新潟市医師会 地域医療推進室

■新潟市医師会内に設置し、両センター機能を運営

①「新潟市在宅医療・介護連携センター」

■新潟市よりH27.11～委託（介護保険法の地域支援事業）

②「新潟市医師会在宅医療推進センター」

■新潟県地域医療介護総合確保基金事業により設置・運営
(医療法を根拠)



新潟市医師会

新潟市医師会 地域医療推進室

在宅医療・介護連携
センター

在宅医療推進センター

新潟市医師会 地域医療推進室とは

(新潟市在宅医療・介護連携センター/新潟市医師会在宅医療推進センター)

新潟市医師会 地域医療推進室

おおまかに言うと、

新潟市医師会内に設置し、地域医療介護総合確保基金事業と新潟市在宅医療・介護連携推進事業から成る両センター機能を、一体的・効率的に運営

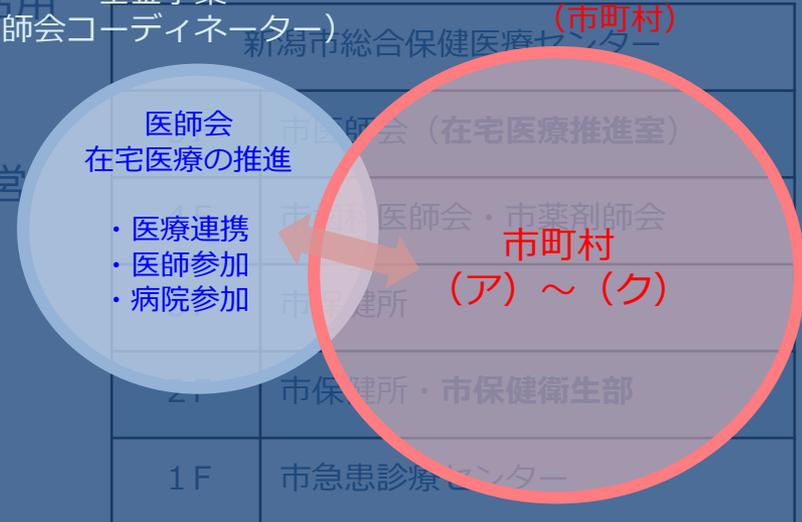
在宅医療・介護連携センター

- ・(在宅医療・介護連携調整センター) /ステーション会議の開催
- ・他市町村、各関係機関との連携構築
- ・**医療介護連携** (多職種連携) ・在宅医療NW事務担当者会議の開催
- ・**住民啓発** (ICT利用) の構築・運用・利活用 (医師会コーディネーター) 地域支援事業 (市町村)
- ・病病、病診、診診連携会議の開催
- ・市民フォーラム (公開講座) の開催

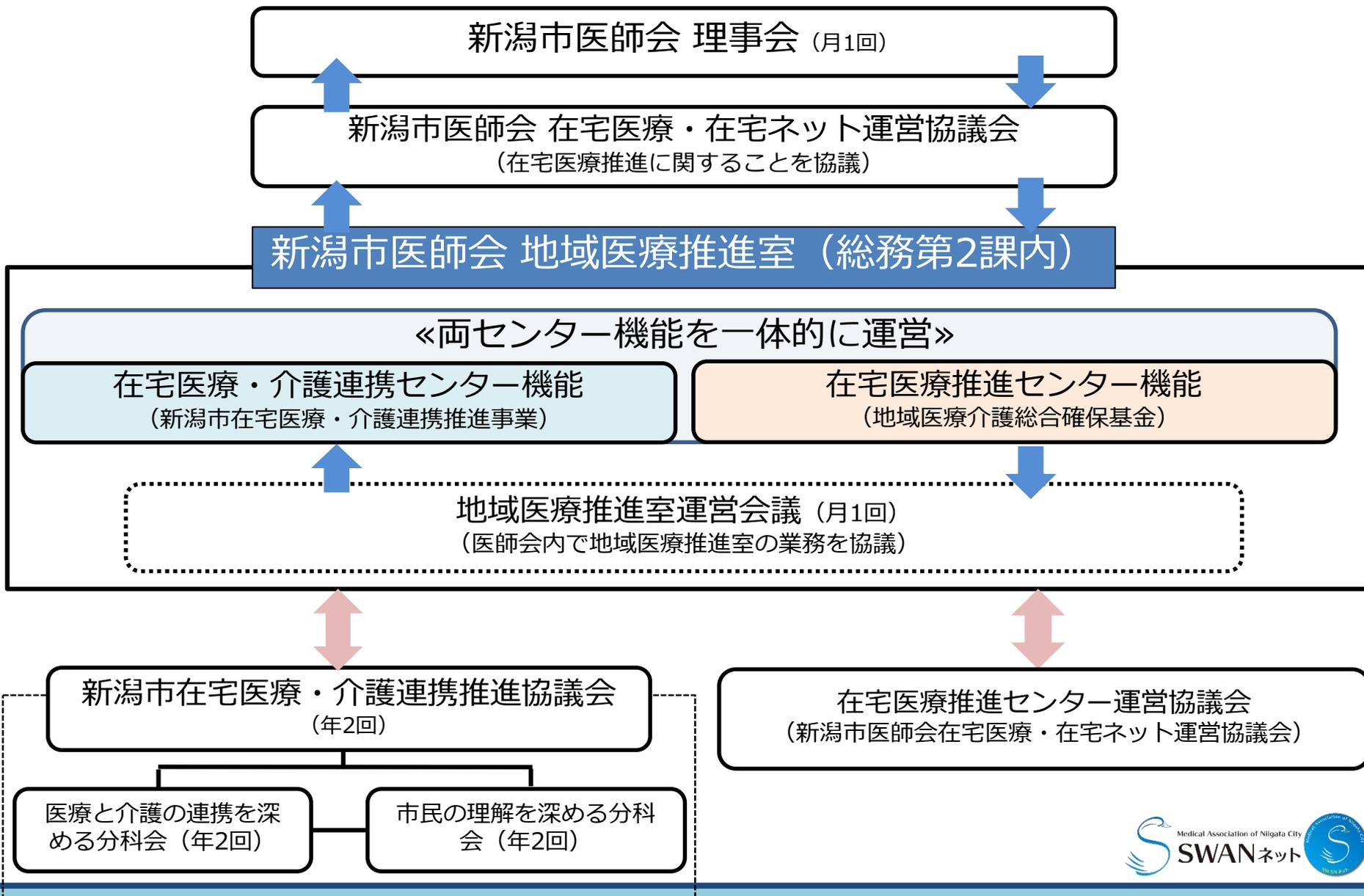
在宅医療推進センター

スタ**医療**連携 (病病・病診・診診)

- ・センター長 (医師会副会長)
- ・室長 (社会福祉士、病院から出向)
- ・事務 (SE)



新潟市医師会 地域医療推進室の組織体系図



SWANネットの操作の実際

 **Net4U**
医療と介護を繋ぐヘルスケア・ソーシャル・ネットワーク
ようこそ! 鈴木 哲 (中野病院) さん [[ログアウト](#)]

ホーム | 患者 | メール | 招待 | 文書 | 参加者 | お知らせ | 操作履歴 | 通知 | 設定変更 | PATH
患者ID: [検索](#)

○ ユーザ情報



中野病院
鈴木 哲
すずき さとし

職種 医師

診療科

[編集](#)

○ リンク

○ お知らせ

油津病院がNet4Uに参加しました (2015/07/29 18:39:09) [もっと見る](#)

○ 各種資料

- [パンフレット \(患者・家族用\)](#)
- [参加同意書・同意撤回書 \(患者・家族用\)](#)
- [運用管理規程](#)
- [運用マニュアル](#)
- [VPN接続マニュアル](#)
- [操作マニュアル](#)

○ 新着患者情報

表示件数 件

患者ID	患者名	患者名 (かな)	年齢	性別	最終更新日時	最終更新内容
111111	東京 太郎	とうきょう たろう	75歳	男	2015/08/28	バス (中野病院)
BSN001	富山 敬子	とやま けいこ	41歳	女	2015/08/26	招待 (堂島医療センター)
999993	青森 睦子	あおもり むつこ	62歳	女	2015/08/26	招待 (堂島医療センター)
9999	土日 町威	とおか まちぞう	57歳	男	2015/08/04	所見 (あらい訪問看護ステーション)
88888	飴肥 三太郎	あび さんたろう	46歳	男	2015/07/29	招待 (中野病院)
999999	宮崎 太郎	みやざき たろう	57歳	男	2015/07/28	招待 (あらい訪問看護ステーション)
100006	宮城 正宗	みやぎ まさむね	89歳	男	2015/03/30	招待 (あらい訪問看護ステーション)
100003	秋田 たつこ	あきた たつこ	89歳	女	2015/02/24	招待 (あらい訪問看護ステーション)
100004	岩手 盛夫	いわて もりお	84歳	男	2015/02/16	招待 (中野病院)
100007	福島 八重子	ふくしま やえこ	85歳	女	2014/11/10	検査結果 (中野病院)

[最初へ](#)
[前へ](#)
[1](#)
[2](#)
[3](#)
[次へ](#)
[最後へ](#)

[もっと見る](#)

【ポータル画面】新しく情報が登録された順に患者が一覧表示されますので、情報共有の必要性が高い患者情報をすぐに表示することができます。また、システムからのお知らせや、必要な文書（同意書、マニュアル等）のダウンロードも可能。

Net4U 医療と介護を繋ぐヘルスケア・ソーシャル・ネットワーク

ようこそ! 鈴木 哲 (中野病院) さん [ログアウト]

ホーム 患者 メール 招待 文書 参加者 お知らせ 操作履歴 通知 設定変更 PATH 患者ID: 検索

患者情報



111111
東京 太郎
とうきょう たらう

生年月日 昭和15年01月01日
年齢 75歳
性別 男
住所 〒1650026 東京都中野区新井 2-1-16
地図で開く
電話番号
自院 / 全て
治療中の病名 ▶急性心筋梗塞
▶アテローム血栓性脳梗塞
▶かぜ
地域連携パス 心筋梗塞 2
タグ 感染 胃ろう 鈴木先生
タグ編集 編集

共有ユーザー一覧
中野病院
医療クリニック

共有カルテ 診断名 検査結果 参照履歴 患者サマリ

カレンダーの表示/非表示
日別 月別

日	所見	処置	処方	検査	文書	招待	メモ	連絡	見守	健康
2015年 09										
08	4	3	2							
07	2	4	3							
06									2	1
05										
04										
03	1	2	1							
02	2	2	2	1						18
01	2		1							
2014年 12		1	1							
11	2		1						1	
10	1	2	1							
09	1									

▼表示オプション

2015年08月21日 (金)

所見 堂島医療センター 堂島 太郎

[↓全て見る]
本日訪問いってまいりました。
バイタルは良好です。
東京の娘さんが帰省されており



2015年08月20日 (木)

処方 中野病院 鈴木 哲

#1	医薬品名	用量	単位	コメント
	ノルバスク錠 10 mg	1	錠	
	リビトル錠 5 mg	1	錠	
	カルデナリン錠 1 mg	1	錠	

1日1回 朝食後 7 日分

2015年08月17日 (月)

所見 あらい訪問看護ステーション 荒井 由美子

[↓全て見る]
本日10時の訪問時のバイタルです。
・体温: 36.8
・血圧: 143/98

【患者ポータル画面】患者情報が一元管理された画面です。情報共有するすべての施設が書き込むことができる共有カルテを中心に、患者属性情報、共有施設一覧、診断名、参照履歴、患者サマリ等、患者に関する情報はここに集約されています。

 **Net4U**
医療と介護を繋ぐヘルスケア・ソーシャル・ネットワーク
ようこそ! 鈴木 哲 (中野病院) さん [ログアウト]

ホーム 患者 メール 招待 文書 参加者 お知らせ ニュース 操作履歴 通知 設定変更 PATH
患者ID: 検索

● **患者情報**



SH002
柏原 美恵
 かしはら みえ

生年月日	昭和44年11月13日
年齢	43歳
性別	女
住所	〒123-4567 北海道小樽市海沿い 2 4 9 5
電話番号	
治療中の病名	自院 / 全て ▶ PIP関節 18トリソ ミー 10週 ▶ S状静脈洞部 1型 ゴーシェ病 CM関節

● **共有カルテ** 診断名 検査結果 参照履歴 患者サマリ

● **文書登録画面**

登録日時* 2013/10/25 登録者 鈴木 哲 (中野病院)

文書種別* 主治医意見書

上記の申請者に関する意見は以下の通りです。

主治医として、本意見書が介護サービス計画作成に利用されることに 同意する。 同意しない。

医師氏名 鈴木 哲

医療機関名 中野病院 電話

医療機関所在地 FAX

(1) 最終診察日

(2) 意見書作成回数 初回 2回目以上

(3) 他科受診の有無 有 無

(有の場合)→ 内科 精神科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科
 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 歯科 その他()

1. 傷病に関する意見
 (1) 診断名 (特定疾病または生活機能低下の直接の原因となっている傷病名については1.に記入) 及び発症年月日
 1. 発症年月日 (頃)
 2. 発症年月日 (頃)

【文書作成画面】 30を越える医療・介護の連携に必要な文書のテンプレートを用意しており、リアルタイムで施設間での送受信が可能です。作成した文書はPDF形式で出力することができます。

SWANネットでは、実際にその患者に関わる施設から別の施設に**招待**を送り、相手がそれを**承諾**することによって、**情報共有が可能**となります。

 **実際にその患者に関わる施設でのみ情報が共有されます。**

Step 1 : カルテの作成



カルテ

Step 2 : 招待の送信



カルテ

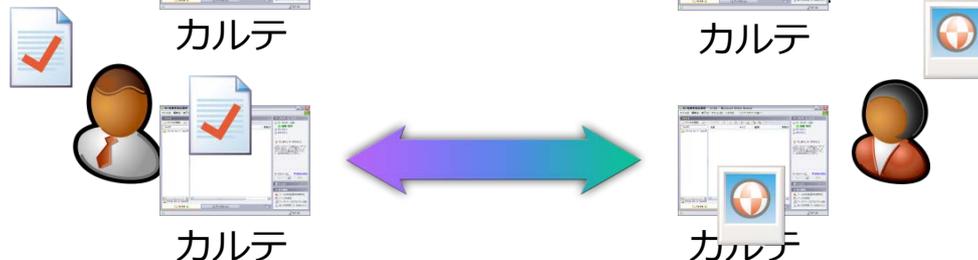
Step 3 : 招待の受理



カルテ

カルテ

Step 4 : カルテの共有開始



カルテ

カルテ

一般的なインターネット接続環境と、パソコン・タブレット等があれば、SWANネット（Net4U）を利用することが可能です。

【通信回線】 インターネット接続環境：光回線・ケーブルテレビ等の固定回線、Wi-Fi・MVNO等の無線回線

- ※Bフレッツ等の光回線を推奨しています。Wi-Fi等のモバイル回線でも接続可能です。
- ※厚生労働省ガイドライン等に準拠するTLS1.2暗号化通信またはインターネットVPNによる利用が可能です。インターネットVPNの利用に際し施設や組織においてセキュアなネットワークを構築している場合には、予め接続要件をご確認の上、設定準備をお願いいたします。
- ※病院やグループ内で構築しているセキュアなネットワークと、SWANネットのネットワークを拠点間VPNで接続することも可能です。それにより院内のセキュアなネットワークの端末からSWANネットを直接利用可能な環境を構築することができます。

【推奨機器】 パソコン : Windows 10・8・7、Mac OS
タブレット・スマートフォン : iPad、Android、Windows

- ※クライアント証明書またはインターネットVPNクライアントをインストールして、安全なネットワーク接続を確立します。
- ※Windows Update等のOSのセキュリティアップデートが更新されている必要があります。
- ※原則として、メーカーのサポート期間が切れたOSについては動作保証をしておりません。
- ※ウイルス対策ソフトがインストールされており、かつデータベースが最新に更新されている必要があります。
- ※古い機器では、動作が遅くなることがあります。

【推奨WEBブラウザ】 Internet Explorer 10.0以上（Edge含む）
Firefox 24.0以上
Chrome 30.0以上
Safari 5.17以上

- ※セキュリティの観点から最新のWEBブラウザでの利用を前提としております。
- ※大抵のWEBブラウザで動作しますが、古いバージョンでは動作が遅くなったり描画がずれたりすることがあります。

接続方法とセキュリティ：ネットワーク接続方法

ネットワーク接続方法の種類

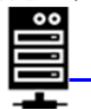
SWANネットでは、安全性の高いネットワークセキュリティを担保するために、以下のネットワーク接続方法が可能となっています。

■ 病院・法人グループ等

Net4U PROXY・病院向けNet4U CONNECT等を利用する場合



GWサーバー



VPNルーター

安全性が高く、安定した帯域が確保できる専用の拠点間ネットワークで接続します。
 ※ガイドライン4.3-5.0対応

閉域IP通信網
 (フレッツVPNワイド等)
 または
 インターネットVPN
 IPsecVPN+IKE

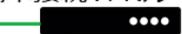
ガイドライン改定前の導入においては、一般的な施設では、インターネットVPNでの接続環境を提供していませんでした。安全性が高い反面、2段階のID/パスワード認証により手間がかかりました。
 ※ガイドライン4.3-5.0対応

Net4Uデータセンター (東日本)

Net4Uサーバー群



端末接続VPNルーター



拠点接続VPNルーター



インターネットVPN
 IPsecVPN+IKE

■ 診療所・薬局・介護事業所・モバイル端末等

Net4U CORE・診療所向けNet4U CONNECT等を利用する場合



VPN接続用ソフトをインストール



ユーザID
 パスワード

インターネットVPN
 IPsecVPN+IKE

■ 診療所・薬局・介護事業所・モバイル端末等

Net4U CORE・診療所向けNet4U CONNECT等を利用する場合



クライアント証明書
 ファイルをインストール



ガイドライン改定後にオープンなネットワークでの接続方法として認められたTLS1.2暗号化通信とクライアント証明書の配布により、現在は一般的な施設での導入を進めております。安全性が認められ、かつ接続が容易な接続方式です。
 ※ガイドライン5.0対応 (H29/5~)

TLS1.2暗号化通信
 クライアント証明書

VPNルーター



遠隔バックアップ
 /DR用サーバー



Net4Uデータセンター (西日本)

地域で地域連携パスを共有可能なツール「Net4U PATH」

様々な疾患の地域連携パスを、病院、診療所、介護事業所等で共有することができる、汎用型の地域連携パスシステムです。

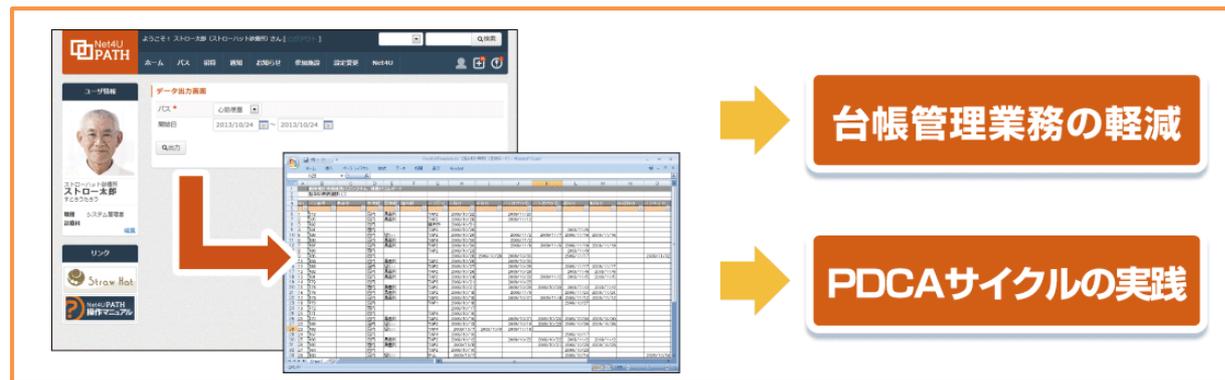


【選べる共有方式】

「WEBフォーム方式」「Excel添付方式」の2種類の共有方法から、ニーズに合わせてパスの共有方法を選択することが可能です。**既に地域で運用しているExcelベースのパスをそのまま共有**することも可能です。

【いつでもデータ集計】

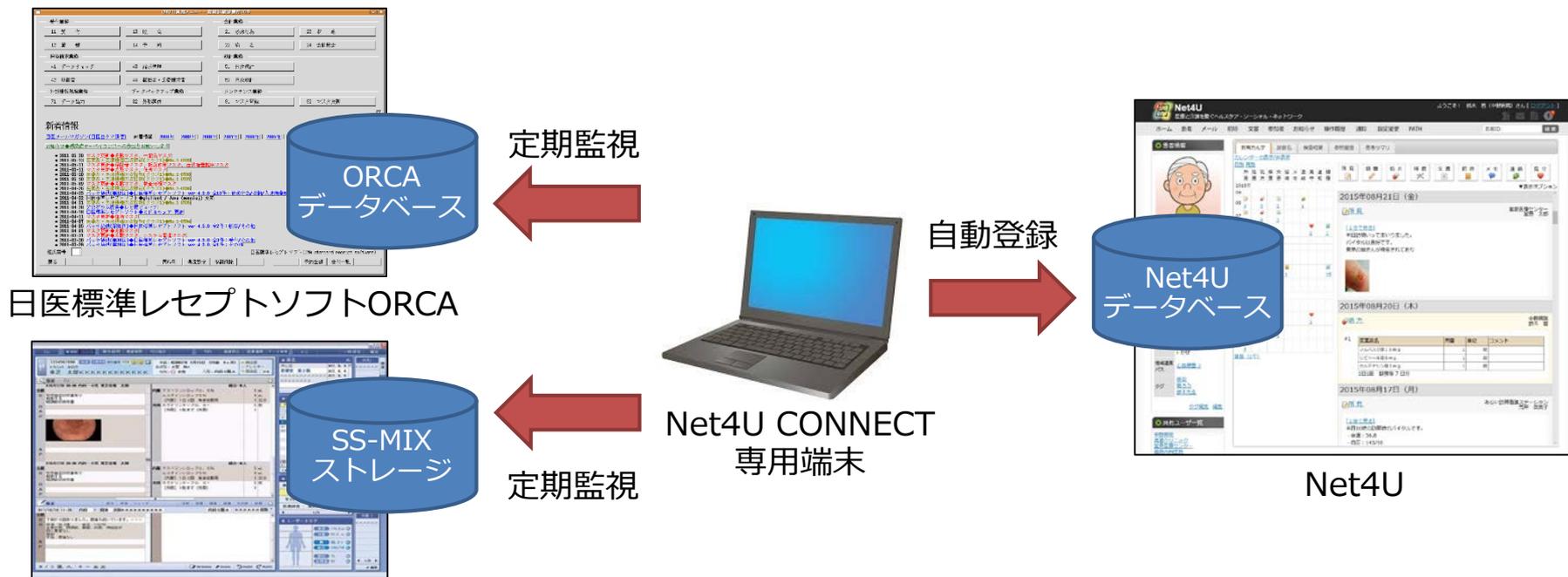
データ集計機能により、すべての地域連携パスの集計データを、**いつでもCSVファイルに出力**すること可能です。



※Net4U PATHの利用に際しては、対象疾患の選定、テンプレートの調整等が必要となります。

既存システムとのデータ連携ツール 「Net4U CONNECT for ORCA」 「Net4U CONNECT for SS-MIX」

日医標準レセプトソフト「ORCA」や、電子カルテから出力可能な標準化ストレージ「SS-MIX」を参照することで、患者情報、処方、検査結果等のデータを、SWANネット (Net4U) に自動的に登録することが可能になります。



SS-MIXが出力可能な電子カルテ

※本機能は各施設が個別にご契約いただくことで利用が可能となるオプションサービス（有償）です。

SWANネットの活発な活用に向けて

新潟市医師会SWANネット運営部会について

新潟市医師会SWANネット運営部会 名簿

2019/04現在

■部会員

	氏名 (敬称略)	所属	職種	役職
1	小柳 亮	KOYANAGI真柄CLINIC	医師	部会長
2	高橋 美佳子	新潟県看護協会訪問看護ステーションにいがた	看護師	副部会長
3	浦野 正美	新潟市医師会 副会長	医師	
4	横田 樹也	新潟市医師会 在宅医療部長	医師	
5	塚田 裕子	在宅ケアクリニック川岸町	医師	
6	阿部 行宏	阿部胃腸科内科医院	医師	
7	鈴木 一郎	新潟大学医歯学総合病院	歯科医師	
8	五十嵐 源太郎	いからし歯科	歯科医師	
9	本間 正洋	共栄堂薬局 とやの店	薬剤師	
10	梅川 望	西蒲中央病院	MSW	
11	切替 敦子	ケアプランセンター春	ケアマネ	
12				
13				
14				
15				

■オブザーバー

1	竹之内 辰也	県立がんセンター新潟病院 副院長 (新潟市医師会 理事)	医師	
2	木下 直彦	新潟医療福祉大学 医療情報管理学科	講師	
3	鈴木 哲	株式会社ストローハット 代表取締役		
4	渡部 正人	株式会社ストローハット		
5	野本 隆男	株式会社BSNアイネット ヘルスケアビジネス事業部		

■事務局

1	遠藤 正人	新潟市医師会 事務局 局長		
2	番馬 春栄	新潟市医師会 事務局 次長		
3	眞保 政宏	新潟市医師会 総務第2課 課長		
4	山上 泰明	新潟市医師会 総務第2課 課長補佐		
5	斎川 克之	新潟市医師会 総務第2課 地域医療推進室 室長		
6	細道 奈穂子	新潟市医師会 総務第2課 地域医療推進室		
7	今井 哲夫	新潟市医師会 総務第2課 地域医療推進室		

1、市民・関係者への情報提供ツール

ホームページ掲載内容について

- 1) 医療資源情報検索
新潟市内1,529事業所へ医療資源調査し、958事業所の情報を公開(62.7%)
- 2) 市民向け
 - ・在宅医療・介護連携推進に関する新潟市の取り組み
 - ・相談窓口について など
- 3) 関係者向け
 - ・在宅医療・介護連携センター/ステーションについて
 - ・在宅医療ネットワークについて
 - ・**SWANネットサポート倶楽部** など

在宅医療と介護の連携をサポートする

新潟市在宅医療・介護連携センター

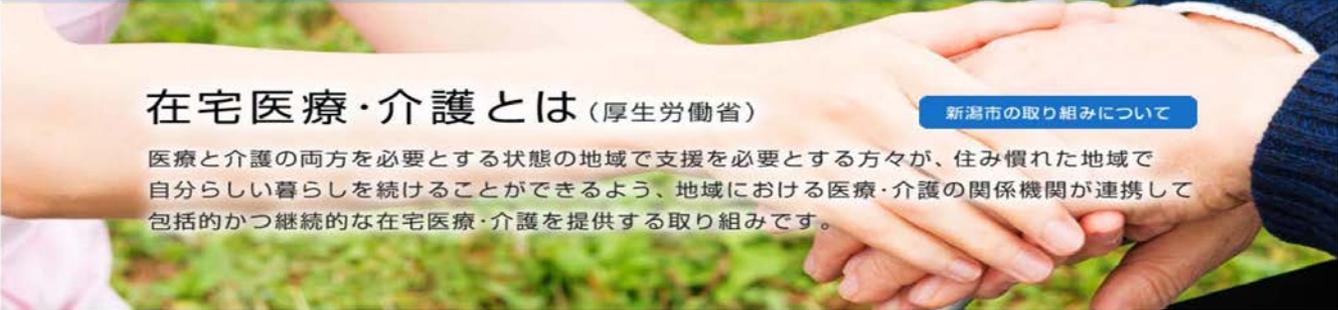
連携センターアクセス 連携センターお問い合わせ
文字サイズ 小 中 大

トップページ 医療資源情報 市民の皆さま 医療・介護関係者さま 連携センター関連

在宅医療・介護とは (厚生労働省)

新潟市の取り組みについて

医療と介護の両方を必要とする状態の地域で支援を必要とする方々が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携して包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供する取り組みです。



センターホームページ URL : niigata-rc.org

SWANネットの活発な利用に向けて

2、SWANネットサポート倶楽部

利用者支援するサポートおよび操作相談・講習業務として、新潟市医師会 在宅医療推進室内に「SWANネットサポート倶楽部」を開設しました。上級者の方から、導入後まもない初心者の方まで、広くお役立ていただけるよう尽力してまいりますので、ぜひご活用ください。

●SWANネットサポート

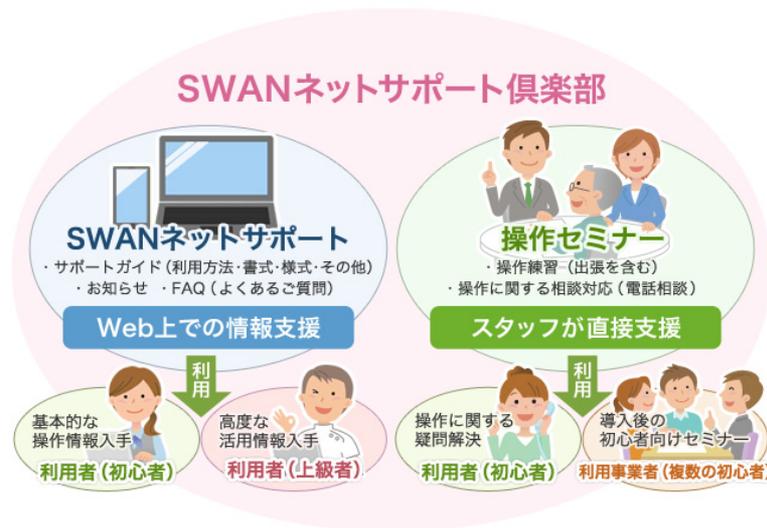
SWANネットに関するさまざまなお役立ち情報をWeb上で提供します。

- ・URL : niigata-rc.org
- ・新潟市在宅医療・介護連携センターのトップページ「バナー」より参照可能です。



●操作セミナー

操作相談に電話で応じ、操作説明（出張を含む）を行います。



SWANネットの活発な利用に向けて

SWANネットサポート倶楽部

操作セミナー

毎週火曜日

10:00~12:00

※ 電話で事前連絡が必要です

○ 操作練習

○ 操作に関する相談受付



新潟市中央区紫竹山3-3-11
新潟市総合保健医療センター5階



025-240-4135

地域医療推進室 直通

- ・その他、電話でのご相談は、いつでもお受けします。
- ・事業所単位で講習が必要な場合は、ご相談に応じます。



SWANネットの活発な利用に向けて

3、SWANネットに関する研修会など

セキュリティ研修会及び事例報告会

日時	対象	内容（演題等）	演者（敬称略）	参加人数
2015/10/14	全区	セキュリティ対策、利用状況について	株式会社ストローハット 代表取締役 鈴木 哲	91
		医療介護連携における情報共有の在り方について	阿部胃腸科内科医院 院長 阿部 行宏	
		事例紹介	すずらん訪問看護ステーション 中野 美佳	
		Net4U事例報告と活用メリット	老人デイサービスセンター藤見 立川 恵子	
2016/10/18	全区	Net4Uセキュリティ研修（新規導入説明会と同時開催）	株式会社ストローハット 代表取締役 鈴木 哲	94
2016/10/20	全区	Net4Uセキュリティ研修（新規導入説明会と同時開催）	株式会社ストローハット 代表取締役 鈴木 哲	81
2018/03/08	全区	医療と情報セキュリティ	新潟大学医歯学総合病院 准教授 鈴木 一郎	137
		SWANネットの活用事例	KOYANAGI真柄CLINIC 院長 小柳 亮	
		SWANネットの活用について	しるね訪問看護ステーション 看護師 吉田 敏子	
		SWANネット活用報告	トリム薬局白根大通店 薬剤師 塩川 祐里佳	
2019/02/28	全区	セキュリティ研修	新潟医療福祉大学 講師 木下 直彦	-
		事例報告	在宅ケアクリニック川岸町 院長 塚田 裕子	
		事例報告	訪問看護ステーションにいがた 所長 高橋 美佳子	

SWANネット情報交換会

日時	対象	内容（演題等）	演者（敬称略）	参加人数
2017/07/15	全区	新潟市におけるSWANネットの概況報告	新潟市医師会 在宅医療部長 横田 樹也	90
		在宅医療・介護連携を支えるためのソーシャルネットワーク ～Net4U・Note4Uによる情報共有～	鶴岡地区医師会 中村内科胃腸科医院 院長 中村 秀幸	
		薬剤師こそNet4Uを使って欲しい！	鶴岡地区薬剤師会 ハート調剤薬局七日町店 篠田 太郎	
		パネルディスカッション	鶴岡地区医師会 中村内科胃腸科医院 院長 中村 秀幸	
			鶴岡地区薬剤師会 ハート調剤薬局七日町店 篠田 太郎	
			KOYANAGI真柄CLINIC 院長 小柳 亮	
トリム薬局白根大通店 薬剤師 山内 雅昭				
2018/09/13	全区	在宅で暮らす人を支え思いがつながる多職種連携をめざしたNet4Uの活用 ～ケアマネジャーの視点から～	鶴岡地区医師会 ケアプランセンターふきのとう 主任 森屋 美香	79
		SWANネット活用 新潟の現状と展望	ケアプランセンター春 管理者 切替 敦子	

SWANネット運用実績 ならびに課題と展望

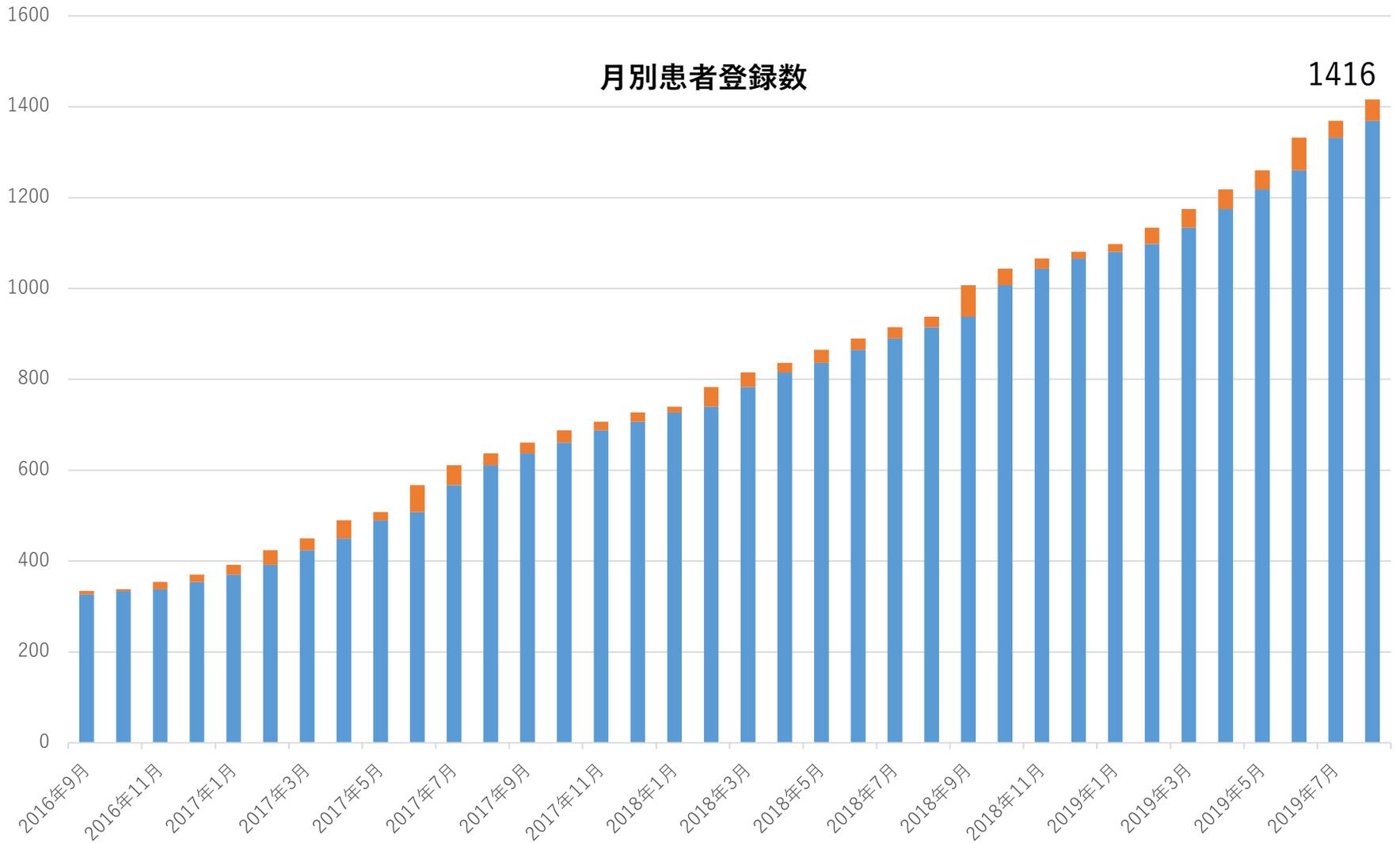
SWANネット参加事業所の状況

	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	合計
病院	2	3	9	1	2	2	5	1	25
医科診療所	1	9	10	5	3	7	13	8	56
歯科診療所			3			2	2		7
訪問看護ステーション	2	5	7	3	2	2	9	1	31
保険薬局	5	20	23	7	8	4	21	6	94
地域包括支援センター	2	2	3	2	3	2	3	3	20
居宅介護支援事業所	1	7	6	2	2	1	3	2	24
介護事業所	2	5	7	2	2	2	1		21
その他			1						1
合計	15	51	69	22	22	22	57	21	279

令和元年9月1日現在

利用実績

月別患者登録数



利用実績

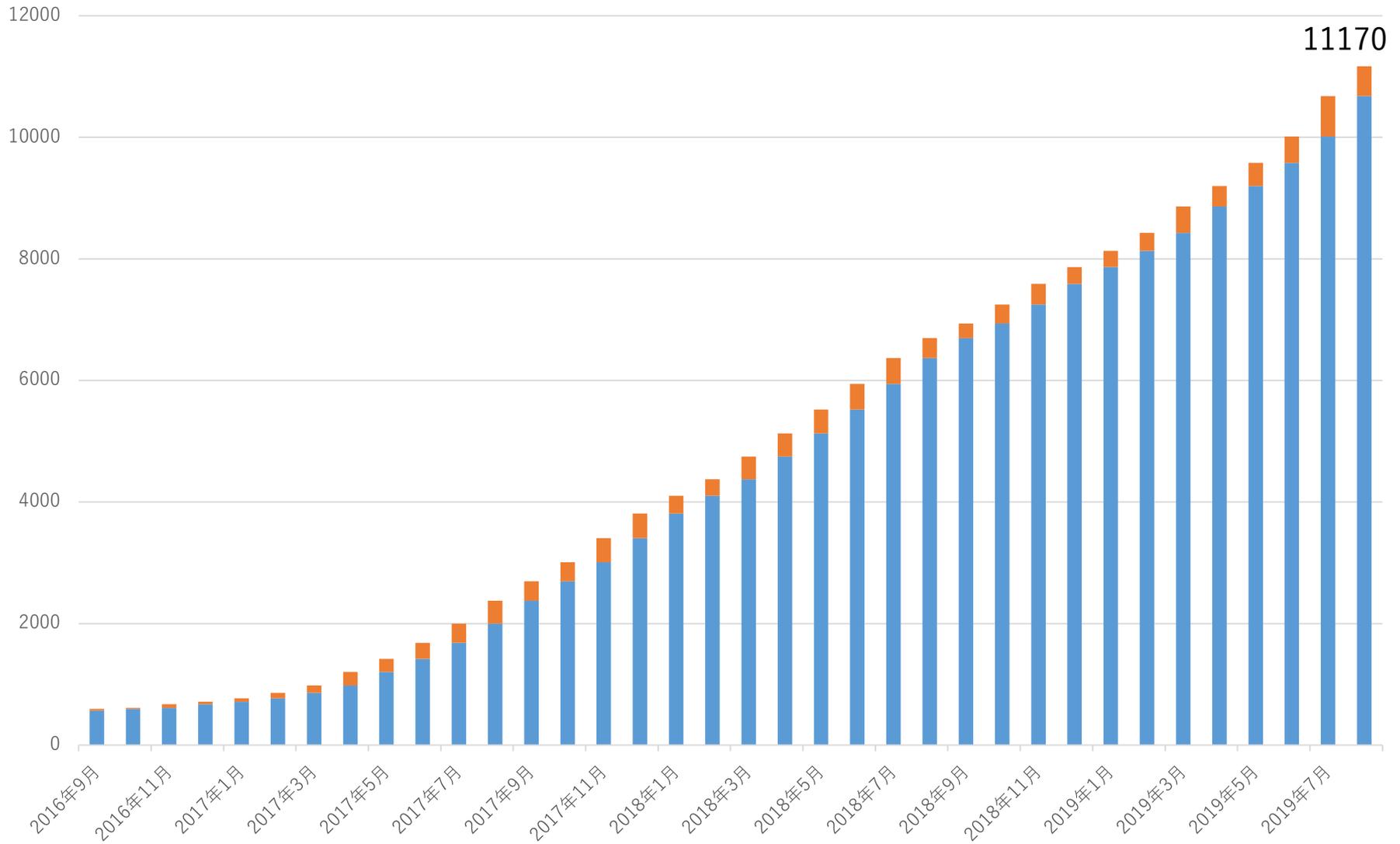
事業所種別	患者登録数
診療所	1082
病院	126
薬局	81
訪問看護ステーション	79
居宅介護支援事業所	29
歯科診療所	5
その他	9

表：施設区分別患者登録数

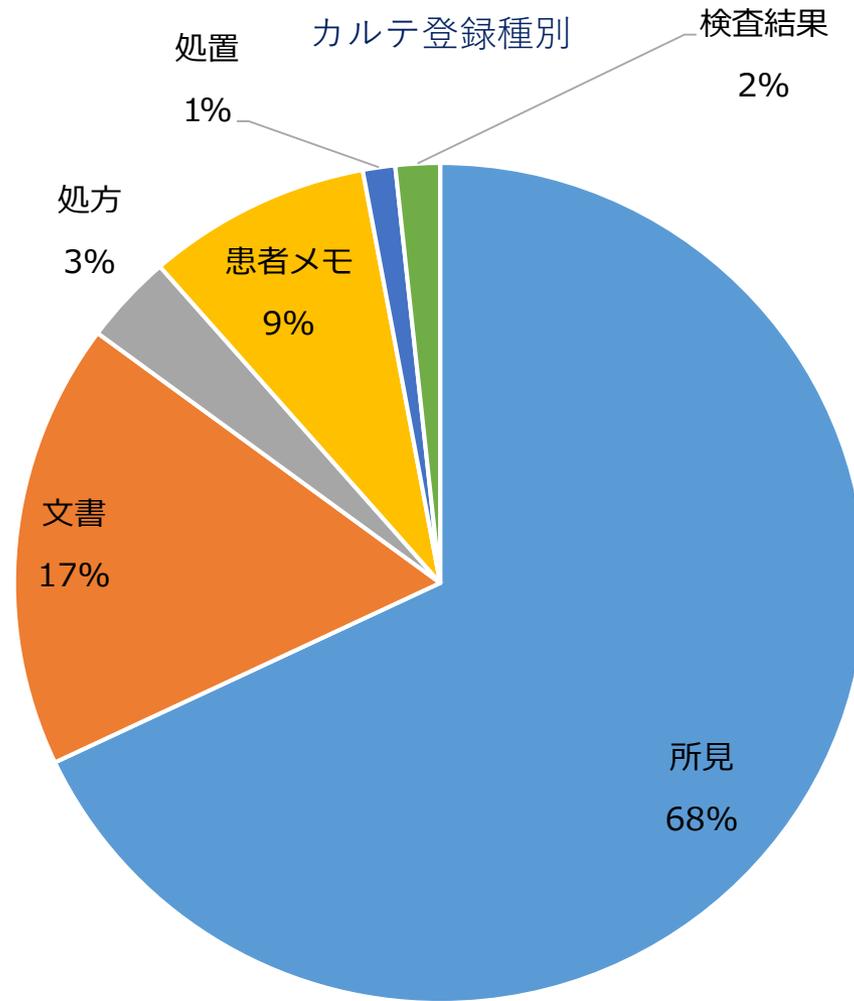
令和元年9月1日現在

利用実績

月別カルテ登録数



利用実績



■ 所見 ■ 文書 ■ 処方 ■ 患者メモ ■ 処置 ■ 検査結果

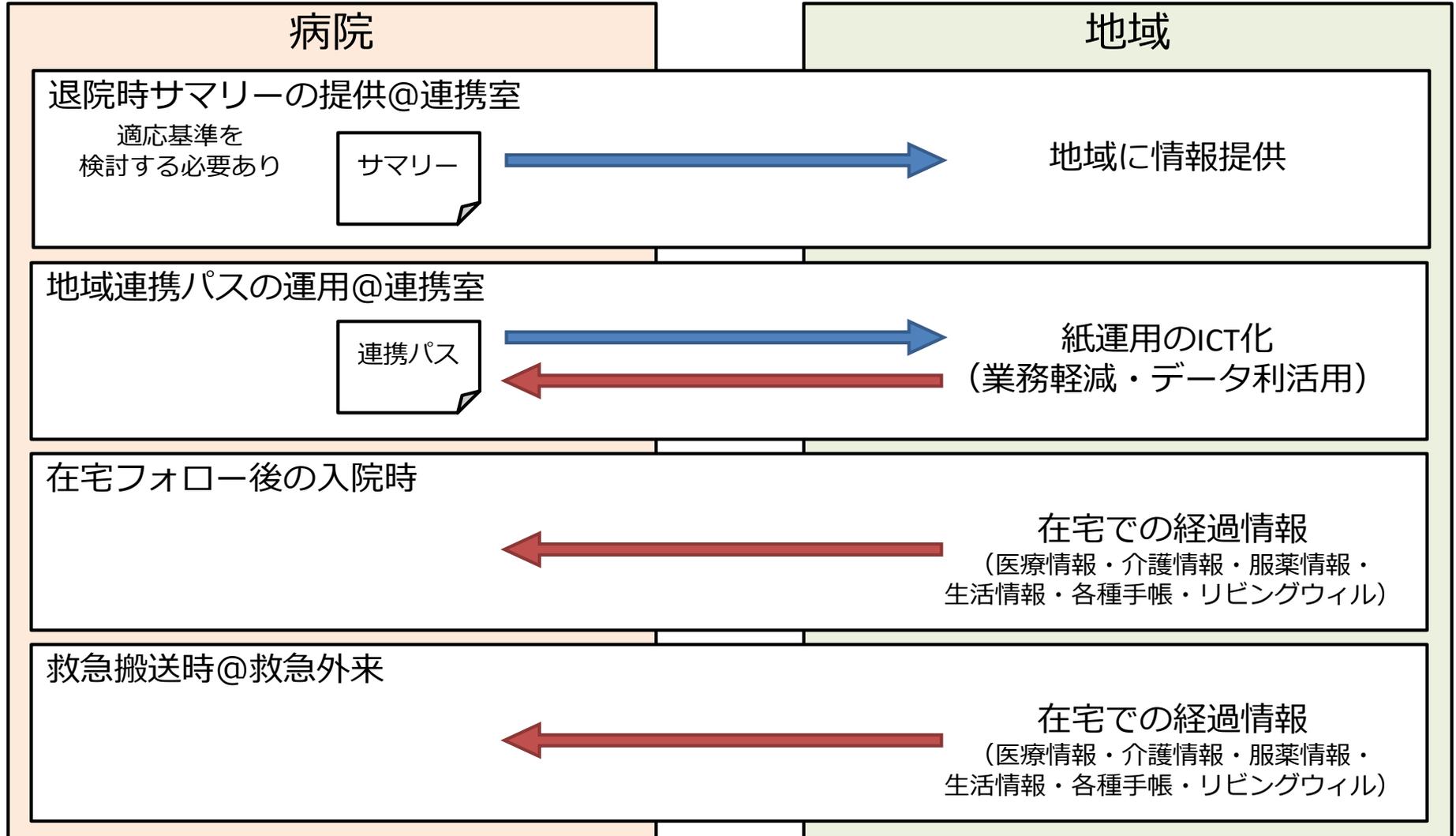
利用実績

		招待先							
		病院	診療所	訪問看護	薬局	居宅介護	歯科	包括	介護サービス、その他
招待元	病院	5	11	12	9	1	1		1
	診療所	370	126	359	610	71	7	23	74
	訪問看護	12	60	12	21	13	2	5	6
	薬局		51	9	2	3			6
	居宅介護支援	14	19	18	9	1	1	4	3
	歯科		4	2					
	包括		1	1	1				
	その他		3		2				1

表：施設区分別招待内訳

課題：病院との連携

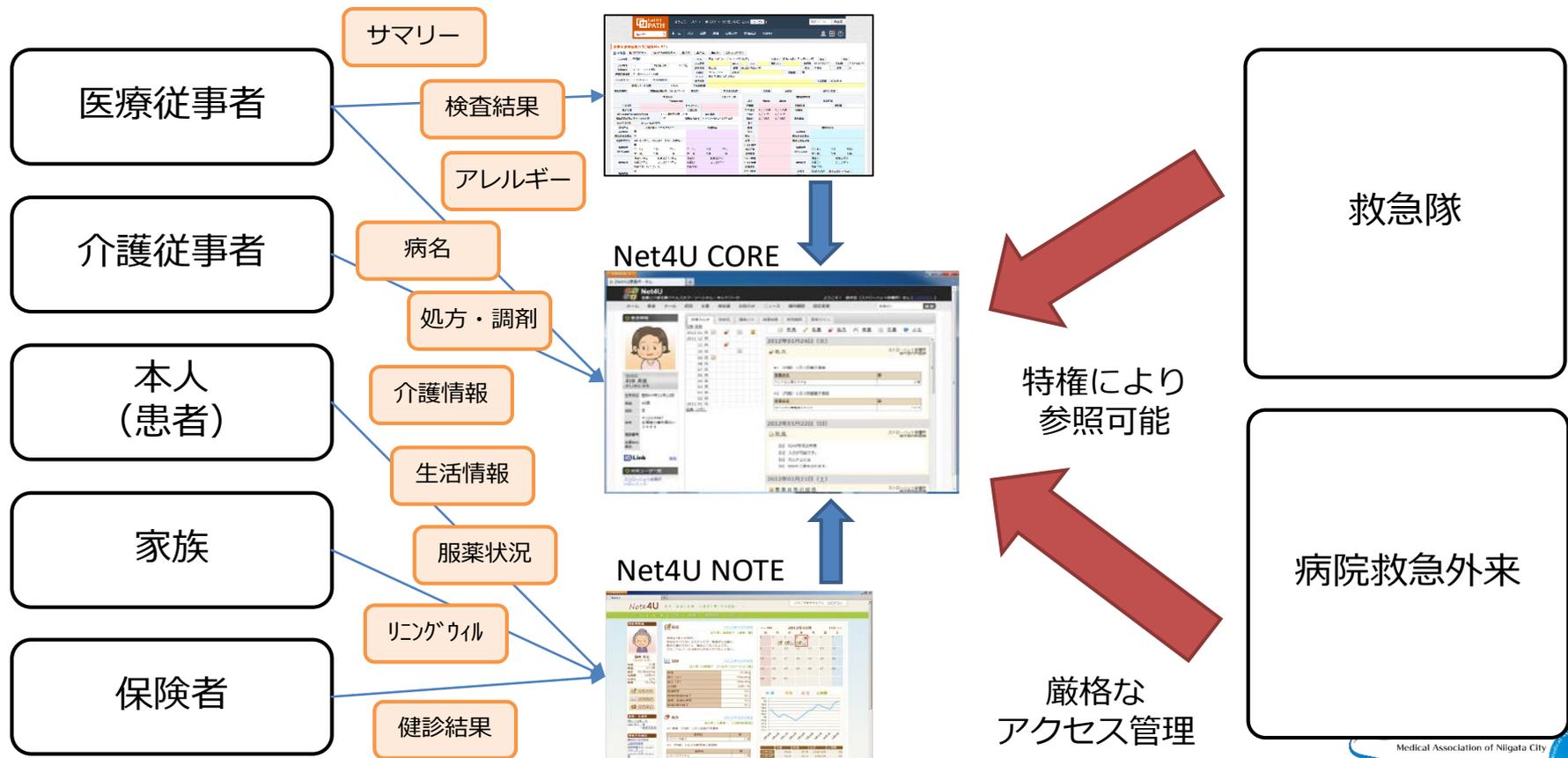
病院における具体的な利用シーンのイメージ



展望：行政との連携

救急現場での情報活用イメージ

様々なツールから登録された医療・介護・健康情報を、救急隊や病院救急外来の現場で参照可能とする仕組みをイメージ。



本日の内容については

在宅医療と介護の連携をサポートする

新潟市在宅医療・介護連携センター

[連携センターアクセス](#)

[連携センターお問い合わせ](#)

文字サイズ [小](#) [中](#) [大](#)

[トップページ](#)

[医療資源情報](#)

[市民の皆さま](#)

[医療・介護関係者さま](#)

[連携センター関連](#)

在宅医療・介護とは (厚生労働省)

[新潟市の取り組みについて](#)

医療と介護の両方を必要とする状態の地域で支援を必要とする方々が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携して包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供する取り組みです。



医療と介護の連携ハンドブック

～新潟市民の生活を支えるための多職種連～

[ハンドブックについて](#)

当Webサイトから簡単にご記入・送信できる

医療資源調査 記入フォーム開設について

連携センターから医療関係者さまへのお願いとご案内



[詳細ページへ](#)

医療資源情報検索

新潟市全域



病院

診療所

訪問看護ステーション

歯科

薬局



ご清聴ありがとうございました

